

飛鳳蓮華



◆飛鳳蓮華の意匠について◆

中国「包山二号墓」に描かれた鳳凰をアレンジしています。窓を魂の通路とし、下段の帯は蓮台を意匠しました。蓋から箱への縦帯は、死者の身体の封印とし、下段蓮台が地上（現世）であり、縦帯で天上へ導かれ、蓋の窓より、棺内外よりの魂（霊）の開放（解放）を形として、表現いたしました。



※包山二号墓

紀元前の北約1740、前門背土室銅鍍玉棺中の鳳凰とみられる正の土に鳳凰が、1986年に湖南漢墓に埋い、この一帯から発見された。包山二号墓は紀元前4世紀の中国戦国時代（楚）において、使われた棺。今日見ることのできる中国戦国時代の棺のなかでも、最も美しいとつとす。